

日本マクロエンジニアリング学会 第42回春季研究大会

主催：日本マクロエンジニアリング学会
後援：NPOマクロエンジニアリング研究機構

日本マクロエンジニアリング学会は“持続可能な未来を創造するマクロエンジニアリング”をキャッチフレーズに、“研究・発表・実装を通じ、社会に貢献する”としております。本研究大会における、廃棄物とその環境への影響・プラスチックリサイクル・EVバッテリー・SDGs・マクロ経済などは、その研究・発表・実装が世界の環境問題解決に直結するものです。質疑応答や総合討論を設けてございますので、皆様とご一緒に考察・討論できればと存じます。一般の方も無料ですので、多くのご参加をお待ち申し上げております。

日 時 2022年5月21日(土) 15:30~19:15

場 所 Web会議（参加希望者は事務局にその旨、連絡ください。URL等を発行します）

参加費 一般：0円（入会いただくと、全イベント参加費無料、初年度は年会費免除）

本学会員：0円（学生は学生証を掲示いただければ無料、学生会員は年会費免除）

プログラム 一般公演 発表15分、質疑5分（発表者交代を含む、若干の前後が予想されます）

- 15:25 開場、受付（それまで会員は総会、非会員は待合室、司会 企画委員長 八木田浩史）
- 15:30 開会あいさつ 日本マクロエンジニアリング学会 会長 角田晋也
- 15:40 容器包装廃棄物の回収効率改善に関する考察—仙台市の廃棄物行政と民間事業者の回収実態を中心に—
○劉曉玥、劉庭秀（東北大学大学院国際文化研究科）
- 16:00 日本におけるプラスチック製容器包装リサイクルの課題分析—廃プラ新法の影響—
○リンイ、劉庭秀、眞子岳、劉曉玥、大窪和明（東北大学大学院国際文化研究科）
- 16:20 マイクロプラスチックのリサイクルと素材識別の可能性
○眞子岳、劉庭秀（東北大学大学院国際文化研究科）、田邊匡生（芝浦工業大学デザイン工学部）
- 16:40 発展途上国における国際協力と衛生教育—蚊の発生抑制を目指して—
○藺畠ひとみ（東洋大学大学院国際地域学研究科）、眞子岳（前掲）、田邊匡生（前掲）
- 17:00~17:10 休憩
- 17:10 EVバッテリーの開発・普及政策の国際比較：日中韓の動向を中心に
○陳洪侠（東北大学大学院国際文化研究科）、劉庭秀（前掲）
- 17:30 韓国におけるSDGs教育の特徴分析—K-SDGsを中心に—
○小山内詩織、劉庭秀（東北大学大学院国際文化研究科）
- 17:50 SDGs登録等制度の導入に関わる予備的考察
○新田義修（岩手県立大学）、清水友博（盛岡市）、畑澤巧（盛岡市）
- 18:10 貯蓄と投資の均等：カレツキの有効需要の原理
○松谷泰樹（中央大学経済学部）
- 18:30 総合討論および閉会の挨拶 日本マクロエンジニアリング学会 理事長 小島紀徳
- 引き続き座談会 NPOマクロエンジニアリング研究機構からのご案内 RIMEP代表理事 小島紀徳
~19:15 世界情勢とマクロエンジニアリングの役割、社会実装 JAMES会長 角田晋也

お問い合わせ 日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒195-0054 東京都町田市三輪町530-1 (株) デザインウォーター内

電話 044-701-0600 FAX 044-988-1876

Mail : info@jame-society.jp URL : <https://www.jame-society.jp/>



<沿革>日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。